

霊の実「親切」

2009/8/16

ガラテヤ書5章22～23, 25節

これに対して、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。

わたしたちは、霊の導きに従って生きているなら、霊の導きに従ってまた前進しましょう。

親切についてのことわざ

- 親切は社会を結びつけている黄金の鎖である。＜ドイツの諺＞
- 親切で付き合いやすい人間は、能力はあるが付き合いにくい人間より貴重である。
＜カリン・アイルランド＞
- 愛するとは、誰かに親切を施したいと望むことである。＜トマス・アキナス＞
- 親切にきなさい。あなたが会う人はみんな、
厳しい闘いをしているのだから。＜プラトン＞

「親切」と訳されている言葉

■「クレストテス」

- 語源の「クローマイ」は、使う、用いる、利用する、の意。「良い」、「親切的な」、「情け深い」、「慈愛深い」、「思いやりのある」という意味で使われる

■「(神の)慈愛」と訳されて多く使われる

- 「こうして、神は、キリスト・イエスにおいてわたしたちにお示しになった慈しみにより、その限りなく豊かな恵みを、来るべき世に現そうとされたのです。」
＜エフェソ2:7＞ 他にローマ2:4, 11:22, テトス3:4

神の親切(慈愛)

- この天地万物を創造し、人間をご自分の「かたち」に創造された
- 人間は創造主に背を向け、自分勝手に生き、自らを傷つけ、全てを破壊し、神を悲しませた
- 神は、ご自分の独り子(イエス・キリスト)を遣わし、人間の身代わりとして裁かれた
- 救われる資格のない私たちを罪から救い、神の子として下さったばかりか、聖霊によって人生を正しくそして豊かに導いて下さる

愛のリストとの比較

- 愛は忍耐強い。愛は情け深い(親切)。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。
＜1コリント13:4-6＞
- すべて継続を表す動詞が使われている
- 3つの「すること」と、8つの「しないこと」

霊の実は人を幸せにする

- 愛、喜び、平和、寛容(忍耐)、親切、善意、誠実、柔和、節制

- 親切の見本

—「イエスは、父がすべてを御自分の手にゆだねられたこと、また、御自分が神のもとから来て、神のもとに帰ろうとしていることを悟り、食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた。」 <ヨハネ13:3-5>

親切な人になるために

■ 関心をはらう

- －少し幸せにしてあげられる人が必ずいる

■ 犠牲をはらう

- －お金と時間がかかるかも
- －自分との戦い

■ 努力をはらう

- －行動に表す

親切な人になるために

■ 関心をはらう

**親切（クレストス）は
キリスト（クリストス）
に似ている**